

| 龍野高校SSH五国連携プログラム用ルーブリック（実施前） |               |                                     |                                       | 学校名（<br>）高等学校                        | 名前（<br>）                                                           |
|------------------------------|---------------|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 目標到達度                        |               | 参加前                                 |                                       | 参加後                                  |                                                                    |
| 評価の基準                        | レベルの意味        | フィールドワークの取組について大幅に改善を要するレベル         |                                       | フィールドワークの取組について満足できるレベル              |                                                                    |
|                              | 具体的特徴         | フィールドワークの意味や目的を理解していない。ただ参加するだけである。 |                                       | フィールドワークの中で、問いを発見し、意味や目的を理解して活動する。   |                                                                    |
| 番号                           | レベル<br>評価規準   | 1点（不十分）                             | 2点（少しできる）                             | 3点（できる）                              | 4点（よくできる）                                                          |
| 1                            | 自然への興味・関心     | 自然への興味・関心は少しはあるが、うすい。               | 自然への興味・関心がある。                         | 自然への興味・関心が高い。                        | 自然への興味・関心が非常に高い。                                                   |
| 2                            | 問いの発見         | 問い（疑問や課題）を立てられない。                   | 抽象的な問い（疑問や課題）を立てられる。                  | プログラムの目的や意味を理解し、具体的な問い（疑問や課題）が立てられる。 | プログラムの目的や意味を理解して研究活動に活かそうとするとともに、研究の題材とするような見通しのある問い（疑問や課題）を立てられる。 |
| 3                            | サンプル収集や実習への意欲 | 実習への意欲がない。                          | 比較的狭い範囲で見つけたサンプルだけを収集する。実習への意欲はあまりない。 | 見つけたサンプルを収集する。実習への意欲がある。             | 広範囲にわたって多くのサンプルを収集する。実習への意欲が非常に高い。                                 |
| 4                            | 結果のまとめ        | 動植物の同定、分類をあまり行うつもりはない。              | 数種の動植物について、同定、分類を行うつもりである。            | 興味のある動植物について、積極的に同定、分類を行うつもりである。     | 興味のある動植物にかかわらず、多くの動植物について積極的に同定、分類を行う。                             |

| 龍野高校SSH五国連携プログラム用ルーブリック（実施後） |               |                                     |                                         | 学校名（<br>）高等学校                        | 名前（<br>）                                                           |
|------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 目標到達度                        |               | 参加前                                 |                                         | 参加後                                  |                                                                    |
| 評価の基準                        | レベルの意味        | フィールドワークの取組について大幅に改善を要するレベル         |                                         | フィールドワークの取組について満足できるレベル              |                                                                    |
|                              | 具体的特徴         | フィールドワークの意味や目的を理解していない。ただ参加するだけである。 |                                         | フィールドワークの中で、問いを発見し、意味や目的を理解して活動する。   |                                                                    |
| 番号                           | レベル<br>評価規準   | 1点（不十分）                             | 2点（少しできた）                               | 3点（できた）                              | 4点（よくできた）                                                          |
| 1                            | 自然への興味・関心     | 自然への興味・関心は少しはあるが、うすい。               | 自然への興味・関心がある。                           | 自然への興味・関心が高い。                        | 自然への興味・関心が非常に高い。                                                   |
| 2                            | 問いの発見         | 問い（疑問や課題）を立てられない。                   | 抽象的な問い（疑問や課題）を立てられる。                    | プログラムの目的や意味を理解し、具体的な問い（疑問や課題）が立てられる。 | プログラムの目的や意味を理解して研究活動に活かそうとするとともに、研究の題材とするような見通しのある問い（疑問や課題）を立てられる。 |
| 3                            | サンプル収集や実習への意欲 | 実習への意欲がみられない。                       | 比較的狭い範囲で見つけたサンプルだけを収集し、実習への意欲があまりみられない。 | 見つけたサンプルを収集し、実習への意欲がみられる。            | 広範囲にわたって多くのサンプルを収集し、実習への意欲が非常に高い。                                  |
| 4                            | 結果のまとめ        | 動植物の同定、分類をあまり行わない。                  | 数種の動植物について、同定、分類を行う。                    | 興味のある動植物について、積極的に同定、分類を行う。           | 興味のある動植物にかかわらず、多くの動植物について積極的に同定、分類を行う。                             |